

## みずほCustomer Desk Report 2022/08/03号(As of 2022/08/02)

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示仲値	130.90
TKY 9:00AM	131.42	1.0263	134.87	1.2259	0.7025		
SYD-NY High	133.18	1.0294	135.37	1.2279	0.7032		
SYD-NY Low	130.40	1.0164	133.43	1.2158	0.6913		
NY 5:00 PM	133.18	1.0166	135.35	1.2158	0.6921		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	32,396.17	▲ 402.23	日本2年債	▲0.0900%	0.0000%		
NASDAQ	12,348.76	▲ 20.22	日本10年債	0.1700%	▲0.0100%		
S&P	4,091.19	▲ 27.44	米国2年債	3.0620%	0.1768%		
日経平均	27,594.73	▲ 398.62	米国5年債	2.8565%	0.2032%		
TOPIX	1,925.49	▲ 34.62	米国10年債	2.7474%	0.1608%		
シカゴ日経先物	27,765.00	▲ 140.00	独10年債	0.7795%	0.0205%		
ロンドンFT	7,409.11	▲ 4.31	英10年債	1.8660%	0.0595%		
DAX	13,449.20	▲ 30.43	豪10年債	3.0320%	▲0.0960%		
ハンセン指数	19,689.21	▲ 476.63	USDJPY 1M Vol	11.85%	0.33%		
上海総合	3,186.27	▲ 73.69	USDJPY 3M Vol	10.96%	0.11%		
NY金	1,789.70	2.00	USDJPY 6M Vol	10.34%	0.02%		
WTI	94.42	0.53	USDJPY 1M 25RR	▲1.06%	Yen Call Over		
CRB指数	283.70	▲ 2.40	EURJPY 3M Vol	12.52%			
ドルインデックス	106.24	0.79	EURJPY 6M Vol	12.01%	▲0.05%		

東京	東京時間のドル円は131.42レベルでオープン。米金利の低下に加え、ペロシ米下院議長の訪台報道を受けた米中間の緊張感の高まりによりドル円は130.40まで下落。一巡後は131円手前まで値を戻したが、新規材料に欠ける中、130円台半ばから後半を推移し、130.92レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、130.92レベルでオープン。目新しい材料に欠けるなか、狭い値幅で横ばい推移。130.99レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ペロシ米下院議長の台湾訪問を受け、米中関係悪化に対する懸念からリスクオフの円買い、ドル買いが強まり、ドル円はクロス円の売りに海外市場で前日の安値131.60を抜け、一目均衡表の雲の下限を抜けると更に下落し、一時130.40を付け、130.99レベルでNYオープン。朝方は米主要経済指標の発表が予定されていない中、狭いレンジでの推移が続くが、ハト派で知られるデーリー・SF連銀総裁が「Fedのインフレ対策はほとんど終了までには程遠い」との効派な発言等から徐々に米金利が上昇し、ドル買いが強まり、ペロシ下院議長が台湾へ到着する中、132.39まで戻す。正午になるとハト派で知られるエバンス・シカゴ連銀総裁が、「年末までの3.25%~3.5%の政策金利はまだ適切だろう。」「9月の会合で50bpは妥当だろうが75bpも問題ないだろう」との効派な発言が伝わり、更に米金利が上昇する展開にNYオープンから2円以上上昇し、一時133.18まで戻し、133.18レベルでクローズした。一方、海外市場のユーロドルは、リスク回避のドル買い、ユーロ円の売りに上値を切り下げ1.0224レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、上値をじりじりと切り下げ1.0181まで下落する。午後も米金利が上昇する中、ユーロドルは上値を重く推移し、一時1.0164まで下落し、1.0166レベルでクローズした。

## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月2日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	2-Aug	1.85%
	22:45	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	利上げ終了は程遠い、インフレは高すぎる。
	23:00	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	9月の利上げ幅は、50bpか75bpになる。
8月3日	02:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	FEDはインフレ率押し下げ実現に照準を絞っている

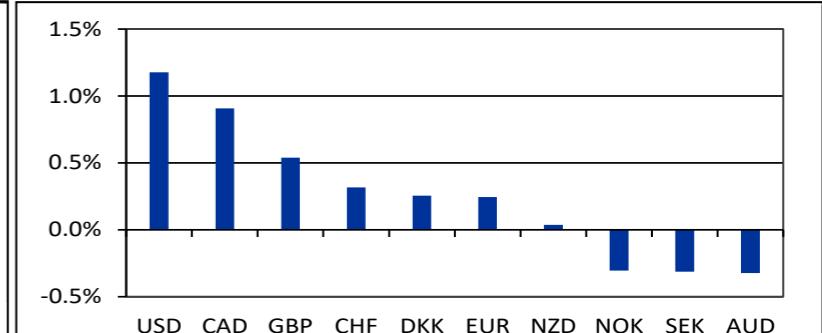
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月3日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	6月 1.0%/35.7%	0.7%/36.3%
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	6月 0.0%/-1.7%	0.2%/0.2%
	20:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	7月 53.5	55.3
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	6月 1.9%	1.9%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	6月 0.3%	0.3%
	23:30	米 ハーパー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	00:45	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
8月4日	03:30	米 カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	-	-

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	132.50-134.50	1.0050-1.0200	134.00-137.00

## 【マーケット・インプレッション】

東京時間は、ペロシ米下院議長の訪台報道を受けた米中関係悪化懸念からドル売り円買いが進展した。米長期金利も一時2.55%台まで低下していたが、デーリー・サンフランシスコ連銀総裁のタカ派発言で一時2.77%台まで反発し、ドル円も133円台まで円安が急伸した。連日の円高で、ドル円は100日移動平均線に迫ったものの、こちらはサポートされた格好となった。今年の3月から約25円円安が進行しており、10円弱調整したとみれば、半値戻しとまではいかなかったものの、調整の範囲内と言える。ただ、半値戻しにはまだ調整余地があるとも言え、本日の米指標およびFRB高官からのタカ派発言の有無次第ではあるものの、調整局面が終わったのかの見極めていきたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 甲斐・西